

文化・芸術の広場



ピンボケ会

「棚田」

森田 雪 さん撮影

カメラ キヤノン EOS IV
 レンズ 70 - 200mm
 フィルム コダック

特選
 天高し歯を打ち鳴らす獅子頭
 童顔の仏のそばに小鳥来る
 煩悩も吸ひ込まれ行く天高し
 天高し無感心と言ふ寂寥
 秋の田の穂づれの音も豊かなり

花田 ムツ子
 原口 孝子
 大塚 和子
 木下 民
 野上 マチ子

俳句会

(十月例会)

大庭土筆選

短歌会

(文化祭)

矢野京子選

太陽に向かひて開く百日草赤あり黄あり生き長らへる
 ご褒美に七十過ぎまで勤めあげしわがわれに買ふ洋服筆筒
 洪皮を残して栗をコトコト煮る昼から夕へ気長なひと日
 いちめんに琉球朝顔花開き鶏小屋の辺に白き夕顔
 久しぶりの法事に集ふ十余人単身赴任の話題にぎはふ

井上あつ子
 金田トシ子
 神崎 鈴子
 原 哲子
 木原トシ子



昔 土師二区子ども農業体験（稲刈り）と現代の稲刈りを体験

10月11日、土師二区の子もたちが春に植えた稲の刈り取りを行いました。最初はカマ刈り取り、その後、コンバインに大人と一緒に乗り込み、現代の農業も体験しました。11月2日には、取れたもち米の一部を持って、子どもたちが桂川小学校を訪れ、「12月12日の三校PTA餅つきに使ってください。」と、桂川小の大里PTA会長と本田校長に手渡しました。子どもたちは、PTA会長からの感謝の言葉に照れくさそうに、はにかんだ笑顔を見せていました。

▶ 世話人の新宮さん(中央)、中村さん(右)と図書カードを受け取る福岡教頭先生



初 桂川中学校昭和45年卒業生同窓会一同の同窓会開催記念で、母校に図書カード寄贈

44年の吉隈炭鉱そして、47年平山炭鉱閉山という桂川町激動の時代真っ只中の昭和45年桂川中卒業生が、今年8月、初の同窓会を開催しました。卒業生約370人の大部分が炭鉱閉山とともに桂川町を離れ、同窓会計画当初は60人程しか所在が掴めなかったとのこと。世話人の苦勞もあり、270人の同窓会名簿が編集され、内116名が集い、同窓を祝いました。11月11日には、同窓会世話人が母校を訪れ「後輩たちに」と図書カードを寄贈しました。

編集＊後記 Editorial Postscript

- ▶ 新型インフルエンザ流行の注意報が、福岡県でも出されました。知り合いの看護師の話では、先月から新型インフルエンザの患者さんが急増しており、そのうちの大部分は、中学生以下の子どもたちだそうです。
- ▶ 数ヶ月前から、広報けいせんでも新型インフルエンザに関する記事載せてきましたが、私自身34年間でインフルエンザというものにかかったことが無く、「カゼのひどいやつ」程度の認識でした。しかし、「子どもが重症化！」といった報道を聞いて、新型インフルエンザの認識を改めさせられました。
- ▶ 我が家でも、3歳と6カ月の子どもがおり、姉の保育園の送り迎え時に「インフルエンザ〇名 休み」の表示の人数が増えるのを見るたびに「いよいよ来るか！」と思ってしまう。
- ▶ とりあえずは、夏の終わりから日課として続けている「うがい・手洗い」と「朝晩の体温計測」、そして「よく食べ、グッスリ睡眠」で、今年一年を無事締めくくることができればと思います。(齊藤)

